



北海道大学  
医学部 医学科

# HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 医学部医学科

# SCHOOL OF MEDICINE

学科案内 | 2024

## CONTENTS

- 001 医学部長からのメッセージ  
畠山 鎮次
- 002 医学科イベントカレンダー
- 003-004 コースマップ
- 005 医学教養コース
- 006 基礎医学コース
- 007 臨床医学コース
- 008 臨床実習コース
- 009 海外実習
- 010 クラブ・サークル活動
- 011-012 卒業後の進路
- 013-014 大学院特別プログラム
  - MD-PhDコース
  - CLARCプログラム



北海道大学 医学部長  
はたけやま しげつぐ  
畠山 鎮次

北海道大学医学部は、北海道帝国大学創設の翌年の1919年に北海道帝国大学医学部として創立され、2019年には創立百周年を迎えた日本のなかでも有数の歴史と伝統を誇る医学部です。これまでに1万名ほどの卒業生が巣立ち、医療や医学研究の分野で活躍する数多くの人材を輩出しております。北海道大学医学部医学科としましては、「広範な医学知識、高い倫理観、豊かな人間性、国際的視野を備え、医学の進歩と医療の実践・発展に寄与する医師・医学研究者を養成すること」を、教育目標として掲げております。この目的のもとで育つ人材は、まず幅広い基本的な医学知識そして専門知識を有すること、そして深い思考力と批判力、応用力、創造力、さらには国際的対応能力を身につけることが要求されます。すなわち、国内の医療貢献のみならず、グローバルな視野および献身的精神を有する人材として活躍することが求められております。

北海道大学では、医学教育のみならず、リベラルアーツも学習できる教育環境が、開設以来、大学として整備されております。現在は、教育の実践を維持するためにハード面・ソフト面でさまざまな工夫を凝らすことで、医学科のそれぞれの学年の履修科目に対応できる教育システムの構築を進めております。特に近年では、学習プログラムを見直し、診療参加型臨床実習を強化しております。診療参加型臨床実

習において、実際の医療現場で必須となる診療チームの一員として診療業務の義務や責任を理解し、医師として必要な専門的な知識、診断力、医療的スキルを学びます。また近年、アジアやヨーロッパ諸国から外国人留学生（特別聴講学生）を多く受け入れており、本学の学生に対して身近に留学生とともに学ぶ教育環境を提供し、語学や国際感覚を身につけられるよう、医学教育国際交流推進センターなどの環境整備に取り組んでおります。

北海道大学は、世界でも珍しい雪の降る200万都市である札幌市の中心に位置し、かつ日本でも貴重な自然に恵まれた広大で静かなキャンパスを構えています。皆さんが、恵まれたこの環境で勉学に励み、将来の宝となる友人、先輩、後輩そして師と出会い、医学・医療の進歩に貢献する創造性豊かで高い倫理観を有した医師・医学研究者になることを心から願っております。北海道大学医学部医学科は、医の学びを通して自己の成長を成し遂げ、自己で設定した高邁な目標と理想をもった学生諸君を歓迎いたします。



## EVENTS CALENDAR

月

4 ● 懇話会

● 入学式

6 ● 医学展(北大祭)

● 医学展(北大祭)  
北海道大学祭期間中、学生主催で講演会・講習会や展示、検査体験や応急処置体験などを行い、医学生の日頃の学修成果を、市民の方々に見ていただく機会でもあります。

8 ● オープンキャンパス

● オープンキャンパス  
一般市民・高校生を対象として毎年8月に行われております。北海道大学に実際に来て・見て・体験してもらうために、各学部でさまざまなプログラムが用意されています。自由参加プログラムのほか、高校生限定プログラム(体験講義)があります。

9 ● フラテ祭

● フラテ祭  
同窓生や学生父母、関連企業・医療関係者など日頃から支援いただいている方々と医学部との親睦を深めることを目的に、2007年度から実施。日頃公開されていない施設を見学するキャンパスツアーや医学部の先生などによる講演会・交歓会などを開催しています。

12 ● 懇話会

● 懇話会  
順調で有意義な学業生活に資することを目的に、学生と教員が親しく懇談する場を設けています。1年次、2年次、4年次に開催します。

2 ● 懇話会

● 懇話会

3 ● 学士学位記伝達式(卒業式)

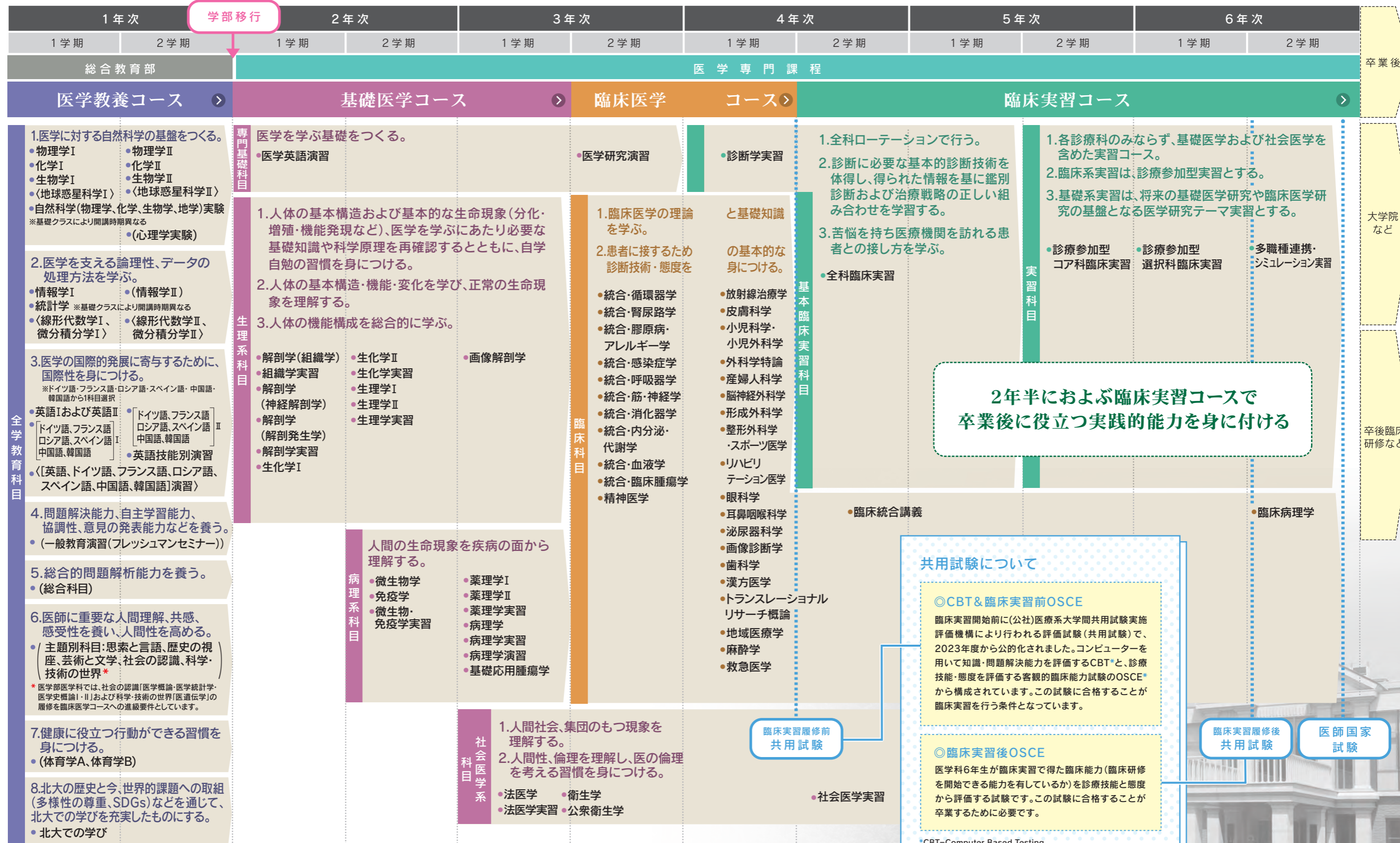
● 学士学位記伝達式(卒業式)

# コースマップ

(このカリキュラムは、2024年度入学者のものです)

◎コースごとに定められた全科目の単位を修得し、次のコースに進級します

医学科の6年間は、広汎かつ複雑な医学について全般的に学ぶオリエンテーションの期間。卒業後続行される臨床研修や基礎医学を含む専門領域の研修・研究につながる、医学の基本的な知識と思考方法を身につけるためのカリキュラムが組まれています。



2年半におよぶ臨床実習コースで卒業後に役立つ実践的能力を身につける

**共用試験について**

◎CBT&臨床実習前OSCE  
臨床実習開始前に(公社)医療系大学間共用試験実施評価機構により行われる評価試験(共用試験)で、2023年度から公的化されました。コンピューターを用いて知識・問題解決能力を評価するCBT\*と、診療技能・態度を評価する客観的臨床能力試験のOSCE\*から構成されています。この試験に合格することが臨床実習を行う条件となっています。

◎臨床実習後OSCE  
医学科6年生が臨床実習で得た臨床能力(臨床研修を開始できる能力を有しているか)を診療技能と態度から評価する試験です。この試験に合格することが卒業するために必要です。

\*CBT=Computer Based Testing  
\*OSCE=Objective Structured Clinical Examination

[全学教育科目] <>: 選択必修科目 ( ): 選択科目

1年次

# 医学教養コース

全学教育科目  
※総合教育部に配属となります

豊かな人間性を磨き、  
生涯医学徒であるための土台をつくります



主題別科目 科学・技術の世界  
「医遺伝学」

2年次1学期～3年次1学期

# 基礎医学コース

| 専門基礎科目 | 生理系科目 |  
| 病理系科目 | 社会医学系科目 |

人体の基本構造を学び、  
医学の基礎を培います



3年次 病理学実習2  
「皮膚・血液」

## コースの特色

医学は自然科学の一分野ですが、医師には多様な価値観を持つ患者さんやその家族と向かい合う幅広い人間性と豊かな人間愛が求められます。これは「医学は文系である」ともいわれる所以でもあります。入学してからの1年は、総合教育部に配属されます。他の理系学部の学生と一緒に多くの教養科目を共に学習することで、幅広い視野と豊かな人間関係を育むなど、人間性を磨き、生涯医学徒であるための土台を

つくる大切な時期です。一見、医学と無関係に思えるような文系の科目、医学以外の理系科目の履修が、後に医学研究や医療を行う場面での豊かな発想力、創造性、広い視点の原動力となります。

## EVENT



### 新生ガイダンス

4月に行われる「全体ガイダンス」では、授業科目の履修方法や大学生活に関する説明があります。「新入生医学部医学科ガイダンス」では、医学科の沿革、6年間のカリキュラムの説明等があります。



全学教育科目の授業は、医学部近くの高等教育推進機構で行われます。

## 医学科生からのメッセージ

### 医学を起点に自由度、無限大

医学教養コースは、医学を志す学生にとって理想的な学びの場です。このコース最大の魅力はその自由度の高さにあり、総合大学としての利点を活かして、医学部生も他学部の学生と共に医学以外の広範囲にわたる講義や活動に参加することが可能です。例えば、私自身も国際医学学生連盟(IFMSA)に参加し、語学のスキル向上を目指しつつ、研究室でプログラミングを学び、国境なき医師団でのボランティア活動にも携わりました。これらの多様な活動が、医学部の枠を超えて新たな学び、成長、そして自分の夢の発見の機会を提供してくれています。

さらに、医学教養コースでは医学の基本知識が深く身につきます。ここで学ぶ医学概論は、臨床や研究に直結し、上級学年になっても繰り返し役立つ内容です。授業は実践的かつ入門的で、医学の基礎をしっかりと理解することができます。

このコースは専門知識の習得だけに留まらず、個々の学生が自らの興味に従って自由に探求することができるため、予想もしなかった自分自身の可能性を広げる機会を提供してくれています。想像もしなかった自分自身を発見し、魅力的な仲間や先生との出会いの場ともなります。

この自由な環境を活用すれば、医学を起点に無限の可能性を探求し、自己成長と自己発見の機会を広げることが可能です。皆さんも、仲間と共に切磋琢磨しながら、充実したキャンパスライフを楽しんでください！

加賀谷 崇さん [3年生]  
大阪府立東高等学校(大阪府)卒業



## EVENT



### 2年次学生会懇話会

4月初旬に基礎医学コース(2年次)進級ガイダンスがあります。医学部長の講話や医学専門課程に関するガイダンスののち、学生会懇話会が催されます。



病理学の実習風景

## 医学科生からのメッセージ

### 医学・医療との関わり方を考える

2年次からは「基礎医学コース」が始まります。皆さんが自分の将来を決めるためのきっかけを与えてくれる大切な期間になるでしょう。本コースでは、ミクロからマクロに及ぶ様々な視点で医学を学ぶことができます。前半は、医学部の醍醐味でもある解剖学から始まり、組織学や生化学、生理学などを通して正常な人体について学びます。後半では、微生物学、免疫学、病理学で正常から病気に至るプロセスを学ぶとともに、薬理学を通して病気の治療に触れることで、臨床医学へつながる知識を深めていきます。これらの学問を最新の研究とともに学ぶことができるのも本コースの大きな特徴です。

また、医師になる上で、「医学」だけでなく、「医療」を学ぶことも重要です。衛生学や公衆衛生学、法医学では、社会と医療の多様な接点や課題を学ぶことができます。さらに、授業だけでは物足りない人は、各分野の研究室で研究に携わることもできます。実際、この期間から研究室に所属する人も多いため、学会発表など貴重な経験ができるチャンスもあります。

約1年半に及ぶ基礎医学コースは、「自分が将来どのように医学・医療に携わるか」をより具体的に考え始めることができる重要な期間です。臨床医として働くのか、基礎研究に携わるのか、行政や地域医療に従事するのか、選択肢は無限にあります。ぜひ、自分の興味を見つけ、積極的に学ぶきっかけを掴んでほしいです。

宮本 裕也さん [5年生]  
清風南海高等学校(大阪府)卒業



3年次2学期～4年次1学期

# 臨床医学コース

| 専門基礎科目 | 臨床科目 | 基本臨床実習科目 |

医療現場への第一歩、  
臨床医学の基本を学びます



3年次 統合・血液学  
「血液学総論」

4年次2学期～6年次

# 臨床実習コース

| 社会医学系科目 | 基本臨床実習科目 | 臨床科目 |  
| 実習科目 |

これまで学んできたことを  
具体的かつ実践的に身につけます



6年次 診療参加型選択科臨床実習

## コースの特色

ここでは、さまざまな疾病について勉強します。疾病を多面的に把握し、内科学、外科学、専門医学などの臨床医学の基本を学びます。患者さんを感情のある人間として理解したうえで、その病態、病状検査所見、診断、治療の基本を身につけます。これは次のコースで、実際の患者さんに接する「臨床実習」においてとても大事なステップになります。

臨床医学コースでは、医学研究の入門となる医学研究演習を1カ月行い

ます。ここでは、学生が研究室に配属され、実験の方法や考え方を学ぶことで、将来の基礎医学研究者や研究医となるための素養を磨きます。このコースの最後には、コンピューターによる知識や理解度を測るCBT、さらに医療面接(病歴聴取)や診察などの技能を測る実技試験「臨床実習前OSCE(Pre-CC OSCE)」の二つの全国共通の共用試験があり、これに合格して臨床実習に進むことになります。

## EVENT



### 日頃の勉強の成果を発揮「医学展」

毎年、北大祭の期間中に行われる医学展では、4年生などが企画部門長となって救急対応などの指導や「妊婦さん体験・車いす体験」などを一般市民向けに行っています。



統合・膠原病・アレルギー学の講義(3年次開講)

## 医学科生からのメッセージ

### 臨床の扉をひらく

京野 里虹さん [6年生]  
北海道札幌西高等学校(北海道)卒業

3年後期から4年前期の臨床医学コースでは、診断や維持、治療といった観点から病気について学びます。このコースで、各診療科の講義が1-2週間かけて行われ、医師になるための知識の土台をつくりあげていきます。学習を進めるうちに、人体の構造や機能、病態や薬の作用機序などの、基礎医学コースで学んだことが礎石となっていることをより実感しました。臨床医学コースでは、先生方から臨床医学の基本だけでなく、臨床現場での応用、最新の医学的知見を踏まえた講義を受けることができ、実習に向けて必要な知識や考え方を身につけることができます。

3年生の冬には医学研究演習があり、医学部の基礎系研究室の活動に参加し、基礎医学により近くで触れることができました。

また、4年生の夏にはCBT(Computer Based Testing)・OSCE(Objective Structured Clinical Examination)という試験があります。CBTはコンピューターを使って受験する共用試験で、OSCEは身体診察や採血、医療面接などを行う実技試験です。

これらを乗り越えたと、いよいよstudent doctorとして臨床実習が始まります。



## EVENT



6年間の学修を経て、いざ学士学位記伝達式  
6年間の学修を経て、充実感いっぱい迎える卒業式です。ここから医療機関や大学、研究機関等へと羽ばたいていくことになります。



全科臨床実習：脳神経内科 電気生理学実習の様子  
このように、各診療科に応じた専門性の高い実習も行われます。

## 医学科生からのメッセージ

### 患者さんと臨床実習

戸田 照久さん [6年生]  
埼玉県立越ヶ谷高等学校(埼玉県)卒業

4年後期から大学病院で臨床実習が始まり、全28診療科を各1週間ずつ回ります。試験勉強が中心のそれまでの学生生活とは大きく異なり、実際に白衣を着て外来や病棟で患者さんと関わることになります。そこでは、実習に協力して下さった患者さんを通して疾患の理解だけでなく、診察の仕方やカルテの記載、診断や治療方針、症例発表といった医師になる上で必要とされる一連の基礎を学びます。また、実習を通じて様々な知識を学んでいく中で、将来どの分野の診療科を専門にするか具体的に考えることも多くなります。私の場合、幾つかの外科系の診療科で手術の助手として参加させて頂く機会があり、これまで漠然と考えていた卒業後の進路を深く考えるきっかけにもなりました。僅かではありますが、学生という身分ながらも患者さんの治療に直接関わった経験は、自分の中で大切な記憶の一つになっています。また、救急科では搬送された重症患者さんの亡くなる瞬間に立ち会う事もあり、この時の経験は2年次にある解剖学実習と並んで私の人生観を大きく変えるものとなりました。

いま真剣に医師になりたいと考えている方も、いずれ臨床実習をした際にはかけがえのない経験をする事になると思います。受験勉強、応援しています！



# 海外実習

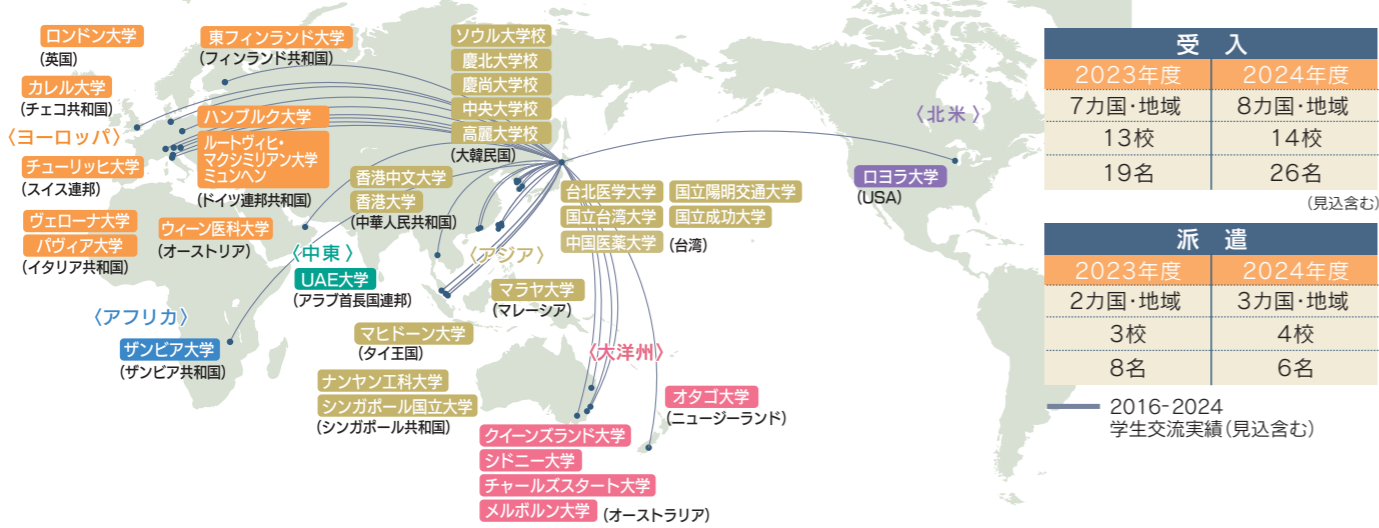
グローバルな舞台に挑戦し活躍できる人材の育成

本学医学部では、国際的なプレゼンスを高めることを目指して、若い世代の内向き志向を克服し、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成に取り組んでいます。海外の大学および研究機関とのパートナーシップを基盤に最先端の技術と知識を共有し、時代のニーズにあった質の高い教育を提供できるよう、さまざまな活動を行っています。

その活動の柱として、医学生の短期海外臨床実習が挙げられます。所定の成績要件を充足し選抜された学生には、6年次の臨床実習の一部を海外での実習に充てる機会が与えられます。本学医学部基金から奨学金として旅費・滞在費の一部を支給して支援しています。コロナ禍直前の2019年度は、海外での臨床実習を希望した16名の学生をシンガポール国立大学、ハンブルク大学、ミュンヘン大学、ヴェローナ大学、UAE大学など世界5カ国の大学病院へ派遣し、世界12カ国・18大学から医学生を受け入れ、臨床実習が行われました。

コロナ禍の影響で2020年度以降、海外協定校との留学生の派遣・受入の一時休止を余儀なくされましたが、この休止期間を活用して、コロナ禍でも国際交流活動を安全かつ確実に実施できるよう、派遣・受入プログラムの見直しや危機管理体制の整備をすすめ、2023年度以降本学6年次学生の海外への派遣と、海外協定校からの留学生の臨床実習受け入れを段階的に再開致しました(下図参照)。今後、社会的情勢を見極めながら、世界規模で国際交流活動を推進してゆく予定です。

## 北海道大学医学部医学科の国際交流(受入・派遣)状況 2024年4月1日現在



### 海外実習経験者

#### 海外臨床実習に参加して

私は医学部1年次に参加した海外臨床実習報告会にて、留学中の体験を生き生きとプレゼンテーションする先輩方の姿に憧れを抱き、自分も海外臨床実習に参加したいと強く思うようになりました。新型コロナウイルス蔓延により現地渡航の海外実習は3年間実施が見送られましたが、最終学年である6年次に無事再開され応募しました。

私はシンガポールに渡航し、女性と子供のヘルスケアに特化した病床数830床のマンモス病院で、産婦人科と小児科それぞれ2週間ずつ実習しました。実習を通して一番感じたことは、シンガポールの医学生との実践力の差です。シンガポールの医学生は、自ら患者に問診・診察を行い、鑑別診断や今後の方針を検討した上で、上級医に完璧なcase presentationをし、主体的に診療に参加していました。一方、私は英語力不足に加えて、臨床知識や診察技術も圧倒的に足りず、対等にディスカッションすることはできませんでした。まさに、井の中の蛙が大海に出たことで、自らの未熟さに気づき、成長の機会を得ることができたと思います。世界に目を向けることは、自分や日本の立ち位置を客観的に把握し、広い視野の中で進むべき方向性を見定め、最終的には自らの成長と医療全体の発展に繋がると感じています。

北海道大学は新渡戸カレッジや協定校との交換留学など、国際交流の機会が豊富に用意されており、実際に卒業後世界へはばたき活躍されている先輩方も多くいらっしゃいます。将来国際的に活躍したいと考えている受験生の皆様には様々な刺激を得られる最高の環境になると思います。ぜひ皆さんも北大医学部から海外への扉を開けてみませんか？

小児科の指導医と記念撮影

婦人科手術室にて指導医の先生方と記念撮影

手稲溪仁会病院  
初期研修1年目  
江端 美織さん

# CLUB ACTIVITIES

## クラブ・サークル活動

日々の勉学に忙しい医学部ですが、医学部内には公認サークル(公認学生団体)があり、それぞれのびのびと活動しています。気のおけない仲間とのコミュニケーション、そして学年を超えたつながりは、より充実したキャンパスライフを実感させてくれるでしょう。

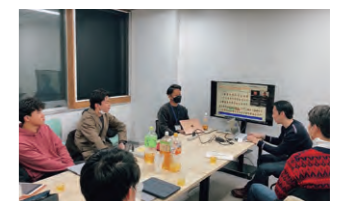
### Sports

- 硬式庭球部
  - ソフトテニス部
  - 準硬式野球部
  - 卓球部
  - バスケットボール部
  - サッカー部
  - 羽球部
  - フラテ山の会
  - アイスホッケー部
  - 学生会スキー部
  - 剣道部
  - 漕艇部
  - 水泳部
  - ハンドボール部
  - バレーボール部
  - ゴルフ部
  - 弓道部
  - 医歯業陸上部
- (2024年度の例 休部を除く)



### Culture

- フラテ編集部
- 東洋医学研究会
- IFMSA(国際医学生連盟)
- アンサンブル・フラテ
- 軽音楽部
- 医学部起業部



医学科卒業後の進路は大きく分けて三つあります。卒業までに進路を選択し、進路に応じた学習が始まります。卒後10年間は基本的学習が続き、その領域をリードしていくための学習は一生続きます。

## 1 臨床医・専門医へ

卒業生の多くが目指すのはやはり臨床医や専門医です。一般的には大学病院などの指導体制が整った病院で研修、診療、研究を行い、高度な専門的技術や能力を磨いていきます。専門医の資格を取得し、さらに大学院に進学してすぐれた臨床研究を行い「医学博士」となることが望めます。

## 2 医学研究者・教育研究指導者へ

先進各国における生命科学の主要な担い手は、医学研究院・医学部医学科の研究者です。医学科卒業後は大学院に進学し、専門的技術や能力の基盤を築きます。研究者・教育研究指導者にとって「医学博士」となるのはその最初の通過点です。医学科在学時から大学院博士課程の科目を履修できるMD-PhDコース(解説p.13)の選択を推奨しています。

## 3 専門職へ

公衆衛生、国際保健、医療行政などで活躍する専門職です。エイズや人獣共通感染症など、国境を越えて広がる新たな疾患に対する疫学調査や予防への取り組み、また医療保険制度など医学医療制度を研究し、施策を提言します。2と同様に、卒業後は大学院へ進学し「医学博士」となることがその第一歩であり、MD-PhDコースの選択を推奨しています。

## 履修モデル



※1 初期臨床研修を修了していなければ診療に従事することはできません(医師法第16条)。  
 ※2 新専門医制度(2018年4月開始)による専門研修専攻例。研修の期間・内容は、基本領域(内科や外科など19領域)ごとに定められた専門研修プログラムにより異なります。専門医になるためには専門研修を修了する必要があります。  
 ★専門研修最終年に博士課程の履修を開始する例

## 教員からのメッセージ

### 人間性豊かな医師、医学研究者を目指しましょう!!

北海道大学は190万都市札幌の中心部に広大でかつ自然豊かなキャンパスを有し、医学部医学科も含め多くの学部や大学院、研究施設がこのキャンパス内に配置されています。北大医学部医学科は2019年に創立100周年を迎えた歴史と伝統あるわが国屈指の医学部であり、つぎの100年に向けて休むこと無く歩み続けています。

2024年現在、核酸医療、再生医療、抗体医療、遺伝子治療、ゲノム医療、AI医療など新しい医療の開発の流れが加速しています。今までは難病といわれてきた疾患にも新しい治療法が開発が進み、一昔前とは隔世の感があります。私たちがその開発の中心的役割を担っていると自負するところです。

しかしどんなに時代が変わって、新しい技術が出現したとしても、それを扱うのは“人”であることを忘れてはいけなと思っています。私たち北大医学部医学科の理念は「世界をリードする先進的医学研究を推進し、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人を育てることにより、人類の健康と福祉に貢献する」です。医学生の中に、医学のみならず、文化や歴史、社会学など幅広い領域を積極的に学んでいただきたいと思えます。また、北海道大学では部活動も活発な活動をしています。6年間の様々な学びや経験とおして、人格と教養を磨き、高い倫理感をもち人間性豊かなよき社会人に、そして、よき医療人になっていただきたいと思っています。実際にみなさんの先輩、医学部医学科の卒業生は北海道のみならず、日本全国、世界で活躍し、人類の健康と福祉に貢献しています。

私たちは、みなさんの将来が輝かしいものとなるように全力で支援していきたいと思っています。みなさんの入学を心からお待ちしております。



矢部 一郎先生  
 医学部医学科教務委員会委員長  
 (神経内科学教室)

## 臨床研修医からのメッセージ



寺島 祐樹さん  
 北海道大学病院  
 初期臨床研修医

### 雄大な大地で最先端の医療を学びませんか

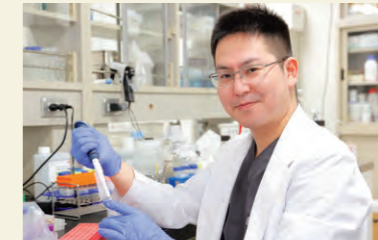
私は北海道大学医学部を卒業後、北海道大学病院の初期研修プログラムに入り、現在は初期研修医2年目として、また腫瘍病理学教室でCLARCプログラムの大学院生として、充実した日々を過ごしています。

北海道大学医学部では、総合大学の特徴を活かした教養を育みつつ、世界をリードする先生方から医学の基礎を学ぶことができます。高学年になれば、北海道大学病院や市中病院の臨床科に配属され、実学としての医療に触れながら、将来の自分の姿をイメージすることができます。北海道という広大な土地だけでなく日本のどこの地域においても今後避けることはできない地域医療の実状と、最先端の医学研究を担うアカデミアとしての国際性のどちらにも触れられるのが北海道大学医学部の特徴です。

さらに、好奇心を抑えられない医学生のために、それぞれの教室が門戸を開いています。パンとコーヒーを片手に英語の教科書を読む気軽な勉強会や実際に手を動かして学生のうちから外科手術を体験できるセミナーなど、様々なイベントが一年を通して開催されています。

皆さんも、広大なキャンパスで四季を感じながら医療者・医学研究者としての将来を探すために、北海道大学医学部へいらっしやっはいかがですか。

## 大学院生からのメッセージ



工藤 彰彦さん  
 大学院医学科博士課程4年  
 神経内科学教室

### 研究を通じて臨床に活かせる学びを大学院で

私は2015年に北海道大学医学部を卒業後、2017年から神経内科医として大学病院、市中病院で働きました。2020年から大学院へ進学し、現在は4年目です。

神経疾患において新しいエビデンスを作りたいと考えて、日々研究を行っています。私は、その中でも自己免疫性小脳失調症の臨床研究・基礎研究に取り組んでいます。臨床研究では本疾患の臨床像を明らかにするため当教室の症例をまとめ、現在英文誌に掲載されました。さらに当教室では本疾患の全国調査を開始しており、それに関わることで大変貴重な経験をさせて頂いています。

そして自己免疫性小脳失調症に関連する自己抗体の測定系の確立や、新規自己抗体の発見に向けた実験に励んでいます。これらの基礎研究を通じて測定系の問題点など、今までは気が付かなかった事にも目が向くようになり、この視点は臨床の場でも役に立っています。

今の目標は、一つでも多く新しい知見を世界に発信することです。そのための熱意のある指導を教官の先生方から受けていると感じます。例えるなら「宝探し」のような日々ですが、実験に成功し、少し前進するたびに喜びがあります。大学院での生活は時間と情熱を注ぐだけの価値があるものです。ともに学べる仲間が一人でも増えると嬉しいです。

# 大学院特別プログラム 医学研究者、研究志向型医師を目指す方へ

医学部医学科在学時に選択できる大学院の二つのプログラムを紹介します。

**一歩早く 基礎研究者へ**

## 研究者養成プログラム (MD-PhDコース)

医学研究を志向する医学科学生に対し、早期に研究の機会にふれ、医学・医療の急速な進歩と社会情勢の変化に対応できる若手研究者(基礎医学分野)を養成することを目的としたこのコースは、**医学科6年次に在籍してそのカリキュラムを履修しながら、大学院博士課程必修科目(共通コア科目8単位)および大学院共通授業科目(2単位まで)を履修することができます。**

医学科5年次・6年次に(特別)選考が実施され、原則として返還の必要のない奨学金(大学院博士課程の入学検定料、入学科および大学院入学後計3年間の授業料相当分、所属教室には6年次の履修に係る経費の助成を目的とした支援金)が給付されます。

**特 徴**

- 医学部卒業年度は同期生と一緒に(医師国家試験受験可能)
- 入学科・授業料相当分の奨学金給付
- PhD取得後、卒後臨床研修も可能
- 優れた研究実績をあげた方を、特任助教に採用(条件あり)

**1年次** 1年次カリキュラム (全学教育)

**2年次** 2年次カリキュラム (医学専門教育)

**3年次** 3年次カリキュラム (大学院教育)

**4年次** 4年次カリキュラム

**5年次** 5年次カリキュラム

一般医学生 (6年次カリキュラム)

MD-PhDコース (年5名限度) (6年次カリキュラム)

選考 (8月実施の大学院博士課程入学試験)

研究者養成プログラム (大学院共通コア)

大学院3年間のプログラム (計4年間の研究)

PhD学位 (特任助教へ採用も可能(条件あり))

卒後臨床研修 (7年次, 8年次, 9年次, 10年次)

奨学金授与

○(特別)選考によって大学院へ正式に進学  
○進学要件は6年次に大学院共通コア科目および大学院共通授業科目(2単位まで)の修得(修学前履修)を推奨  
○3年間の短縮修了制度を推奨

○(特別)選考によって大学院へ正式に進学  
○進学要件は6年次に大学院共通コア科目および大学院共通授業科目(2単位まで)の修得(修学前履修)を含みます

**一歩早く 臨床志向型研究者へ 研究志向型医師へ**

## CLARCプログラム

CLARCプログラムは、**臨床研修2年目に大学院に入学し、臨床研修と大学院での学修を並行して行えるプログラム**です。

あくまで臨床研修を主体とし、平日の17時以降に大学院の講義・研究指導を受けます。

このプログラムを選択するためには北海道大学病院の卒後研修プログラムのうち、2年目に北海道大学病院に在籍する研修コースを選択します。

地域医療など大学病院外で研修する期間は一時大学院での履修を中断できるので、安心して研修に従事できます(研修科との調整が必要となります)。また、基礎系教室の教員も指導教員として選択できます。

医学部6年次 医学部医学科 (初期臨床研修2年目に北大病院に在籍するコースを選択)

医師国家試験

博士課程願書提出: 所属教室の決定

初期臨床研修 (初期臨床研修2年目から博士課程に入学)

CLARC (初期研修)

大学院博士課程 CLARCプログラム

大学院博士課程 (基礎医学系)

大学院博士課程 (臨床医学系 基礎医学系)

臨床志向型研究者 研究志向型医師 (専門医\*・医学研究者・教育者 など)

\*専門医になるためには専門研修を修了する必要があります。

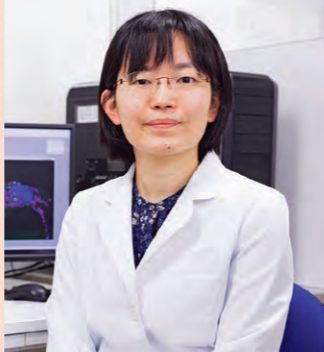
MD-PhDコース修了者

## Medical Doctor “&” Doctor of Philosophy

私は細胞生理学教室(大場雄介教授)に所属し、令和2年3月に北大大学院のMD-PhDコースを修了しました。同年4月からは同教室の教員として、研究と教育に従事しています。

私は小さい頃から科学一般に興味があり、将来は大学院に進学するつもりで、総合理系の枠で北大に入学しました。このため私にとってMD-PhDコースは理想的な制度であり、医学科に進学を決めるきっかけとなりました。

私が所属している教室では、生命の基本単位である「細胞」を対象として、その動作原理を構成的に解き明かすことをテーマとしています。私は現在、物質の取り込みや細胞内輸送といった細胞機能に対し、種々のイオンが与える影響を調べています。私は、MD-PhDコースを経て基礎研究に進むことの強みは「一連の医学教育を受けられること」だと思っています。個々の臓器や人体がいかにして動作するのかを学ぶことはもちろん、臨床実習で得られる貴重な経験は、研究を続けていく上での強いモチベーションとなるでしょう。



北海道大学大学院医学研究院  
細胞生理学教室  
助教

柏木 彩花 さん

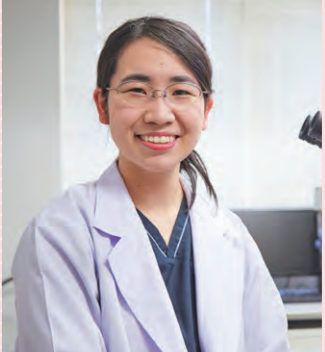
CLARCプログラム修了者

## CLARCプログラムの研修

学部生のときから病理学に強い関心があった私には、高い専門性を身につけながら博士の学位も早く取得できるCLARCプログラムはとても魅力的でした。1年目に製鉄記念室蘭病院、2年目に北大病院を中心に行った初期研修では多くの症例を経験し、各診療科と病理診断科とのつながりにも触れることができました。2年目からは大学院1年生も兼ねましたが、腫瘍病理学教室の田中教授をはじめ各研修先の指導医・スタッフの方々のご理解とご協力により無事修了することができました。

現在は実験手技を習得し研究を進めるとともに、病理専攻医として病理診断を学んでいます。臨床各科での体験は、依頼書から臨床経過を把握したり、病理解剖の中で死因や病態を考えたりする際の助けになっています。基礎研究の考え方を訓練することもまた、疾患を臨床・研究の両面から考えるという点で重要であり、より良い病理医を目指す上できつとかけがえない経験になると信じています。

早くから基礎研究に触れ医学に対する理解を深めることは、病理に限らずどの分野でも大きなアドバンテージとなるでしょう。CLARCプログラムに興味のある方は、まずは所属する予定の科へ相談してみてください。



医療法人 湊仁会  
手稲湊仁会病院  
病理診断部

加藤 万里絵さん





1 管理棟



2 医学部学友会館「フラテ」



3 北海道大学病院

広大な北大キャンパスのほぼ中央に位置する医学部。  
豊かな自然に囲まれた環境の中、  
医療人としての第一歩を踏み出すための  
6年間がここから始まります。



4 医学研究院・医学院・医学部図書館



5 臨床講義棟



6 医歯学総合研究棟



7 学生サークル室



8 医学部食堂(サークル室)



9 医系多職種連携教育研究棟



10 医学部百年記念館

## Access

### 敷地内のご案内

北13条門からイチョウ並木を通り、T字路を右折。噴水のあるロータリーが目印です。管理棟に受付がありますのでお問い合わせください。

### 交通のご案内

- 〈JR線〉札幌駅下車 徒歩約20分
- 〈地下鉄南北線〉北12条駅下車 徒歩約10分、北18条駅下車 徒歩約10分
- 〈地下鉄東豊線〉北13条東駅下車 徒歩約15分
- 〈中央バス 屯田線01、03、04〉札幌駅北口バスのりばから乗車 北大病院前下車 徒歩約3分

● 新千歳空港～札幌駅 (JR) 約40分 (バス) 約80分



# 北海道大学 医学部医学科

〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目  
TEL. 011-716-2111 (北海道大学代表)  
FAX. 011-717-5286  
URL <https://www.med.hokudai.ac.jp/sch-med/>



北大医学部

検索